

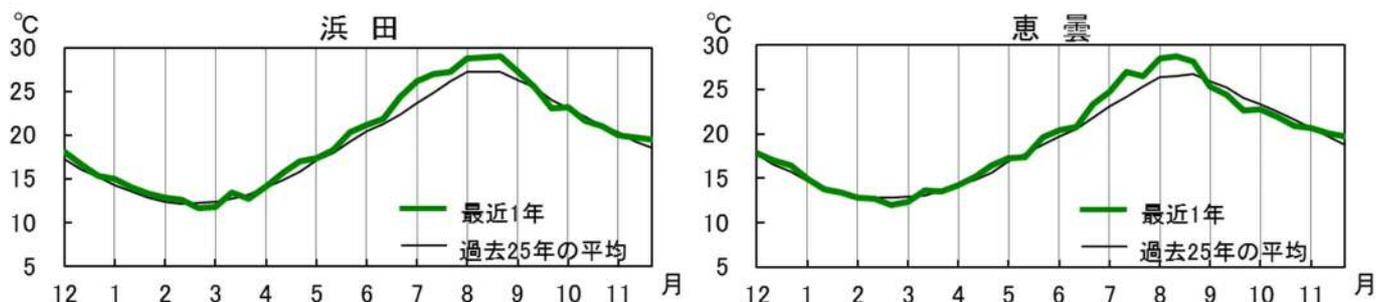


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《11月の海況》



11月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや低め	19.8°C	+0.1°C	平年並み	20.2°C	+0.4°C
中旬	やや高め			やや高め		
下旬	かなり高め			はなはだ高め		



《11月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年並み、マアジは平年の7割でした。隠岐地区ではマアジ、ブリ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は18.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは1,121トンで平年の2.4倍、ブリは933トンで平年の7割でした。例年漁獲量の多いサバ類は351トンで平年の4割、イワシ類3種はほとんど漁獲されませんでした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は26.3kgで平年並みでした。西郷地区(属人5トン以上)ではケンサキイカ(全体の100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、アナゴ・ハモ類、ムシガレイを主体に、1統1航海当りの漁獲量は17.9トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、キダイは平年の2.7倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.1倍、ムシガレイは平年の8割でした。その他、マダイおよびカマス類は平年の3.1倍、マトウダイは平年の2.0倍、マダラは平年の1.3倍と好調であった一方、アンコウ類は平年の7割、アカムツは平年の6割、ソウハチは平年の5割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、アンコウ類、アナゴ・ハモ類主体の漁況で、総漁獲量は438トンでした。1統1航海当りの漁獲量は966kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ソウハチは平年の8割、アンコウ類は平年の1.3倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.4倍でした。その他、ニギスは平年の1.7倍、マトウダイは平年の1.3倍、キダイおよびスルメイカは平年の1.2倍、ヤリイカおよびムシガレイは平年の1.1倍と好調でしたが、マダラは平年の8割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではブリ、サワラ類、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は18.7トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.9倍、サワラ類は平年の6割、マアジは平年の6割でした。石見地区ではマアジ、サバ類、ブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は20.4トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の1.0倍、サバ類は平年の6割、ブリは平年の1.6倍でした。隠岐地区ではブリ、ウルメイワシ、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は9.3トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の3割、ウルメイワシは平年の1.1倍、マアジは平年の7割でした。

【釣・縄】

出雲地区ではクロマグロ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は36.4kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、クロマグロは平年の5.6倍でした。石見地区ではクロマグロ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は32.6kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、クロマグロは平年の3.7倍でした。隠岐地区では、クロマグロ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は35.2kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、クロマグロは平年の2.7倍でした。

【令和4年11月の漁獲統計】

※令和4年4月号から漁模様（◎、○、▲）の記載はありません。

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マアジ、ブリ類	2,462トン	67%	61%	18.5トン	53%	55%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	0.8トン	81%	7%	26.3kg	170%	55%
	西郷	ケンサキイカ(※操業隻数が少ないため)	—※	—※	—※	—※	—※	—※
沖合 底びき網	浜田	キダイ、アナゴ・ハモ類、ムシガレイ	305トン	126%	105%	17.9トン	112%	107%
小型 底びき網	大田	ソウハチ、アンコウ類、アナゴ・ハモ類	438トン	124%	107%	966kg	89%	100%
定置網 (大型)	出雲	ブリ、サワラ類、マアジ	224トン	62%	53%	18.7トン	67%	56%
	石見	マアジ、サバ類、ブリ	81.8トン	66%	72%	20.4トン	66%	69%
	隠岐	ブリ、ウルメイワシ、マアジ	27.9トン	82%	46%	9.3トン	82%	46%
釣り・縄	出雲	クロマグロ	55.5トン	238%	141%	36.4kg	128%	123%
	石見	クロマグロ	44.0トン	142%	116%	32.6kg	136%	141%
	隠岐	クロマグロ	49.8トン	193%	193%	35.2kg	135%	145%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ